

防災、子育て支援、医療介護、教育、まちづくりなど

府山城振興局に要望書提出

日本共産党・森下府議、八幡市議団

日本共産党の森下よしみ京都府会議員、八幡市議団、さわむら純子・党八幡平和・女性部長は21日、京都府山城広域振興局、山城教育局に、5分野39項目の要望書を提出し懇談しました。

一部損壊の住宅への支援
学校体育館へのエアコン設置も

災害に強いまちづくりの項では、昨年の大阪北部地震の経験を生かして災害救助法、被災者生活再建支援法を的確に運用すること、一部損壊の住宅に対して、府と市の地域再建被災者住宅支援制度を柔軟に適用することなどを求めました。避難所となる学校体育館へのエアコン設置について、国の補助の拡大、府独自の支援を求めました。

「あんしんサポートハウス」増設を

子育て支援、医療・介護分野では、府の子どもの医療費助成の拡充、小児夜間救急の八幡での受け入れ日数を増やすための医療機



府山城広域振興局、山城教育局への申し入れ 21日

関への支援、65歳以上の医療費を1割負担に軽減すること、介護では、八幡で2つ目の「あんしんサポートハウス」増設に尽力することなどを要望しました。

教育分野では、少人数学級、小学1・2年生に複数教員を配置する基準の拡充、週10時間、夏休みまでに限定される2年生の配置を通年に広げることがを要請しました。学校図書館司書、スクールソーシャルワーカー、給食の栄養教諭の配置の改善を提起しました。

違憲の大軍拡 国民のくらし犠牲に 安倍政権

一方、消費税の10%増税、社会保障の切り下げなど、国民のくらしに犠牲を押しつけようとしています。たとえば、将来を担う学生たちは、高学費の上に、奨学金の利子、返済に追われています。日本学生機構によると、奨学金貸与者のうち自己破算した人が5年間で7633件にのぼります。軍事費を削って、くらし応援の政治に転換しましょう。

戦闘機積み空母に

軍事費よりくらし応援を

増える奨学金自己破産

安倍自公政権は、5年間で27兆5000億円の軍事費を投入する「防衛計画」を策定し、護衛艦を改造して戦闘機F35Bを積める、事実上の空母化を進めています。相手国を攻撃できる長距離巡航ミサイルの導入も検討しています。自衛隊を「海外で戦争する軍隊」に変えようとしています。